

「広報」



あに

1994

11 月

編集・発行 秋田県阿仁町役場総務課
電話 0186-82-2111

No.389

早く大きく なくれ

阿仁町、阿仁営林署主催の平成六年度植樹祭が大阿仁地区生活環境保全林の完成祝いを兼ねて、十月十八日、比立内の鏝内国有林内で行われました。植樹祭には大阿仁・中村両小学校の児童や関係者約百五十人が参加。この完成祝いの中で、緑地休養施設内に壁面を制作した阿仁中学校美術クラブの生徒に感謝状が送られました。この後、関係者が林間広場に山桜五十本、大阿仁・中村小学校の四年生以上の児童が営林署の森林官の指導で、キャンプ場周辺にブナの苗木六十本を植樹しました。



またたびのワインに ローゼおしゃれに誕生



上品・甘い・シロもローゼも好評

「阿仁またたびのワイン」の新酒発表会が十月十五日、開発センターで開かれ、関係者約百二十人が新作のローゼなどを試飲しました。阿仁またたびのワインは、

たびのワインは発売以来好評で、今年はローゼも開発されました。味、香りとも昨年をしのぐ仕上がりと聞いております。これらが町の活性化に大いに役立つこ

商工会が昭和六十年から「むらおこし事業」として特産品開発に取り組み、一昨年の発売以来大好評で昨年は'93東北むらおこし特産展特産品コンクールで東北通商産業局長より最優秀賞を受賞しております。



若い女性にも大人気のローゼ

は女性層への販路をさらに拡大しようと、新たに女性向きローゼタイプを完成させました。新酒の発表会には主催者を代表して今井町長が「ま

とを期待します」とあいさつ。
魚住金治商工会長が「山ブドウ生産組合のご好意により原料百パーセントの地元産のローゼを完成するこ

とができました。今年は白一万本、ローゼ五千本を販売。またたびのワインのファンがさらに増えることが楽しみです」とあいさつ。
続いて、醸造元のサントネージュワイン株式会社の木下俊昭代表取締役が「今年は良く熟したマタタビが手に入り、白ワインも昨年よりもおとなしく、マタタビの特徴が抑えられた感じとなっています。」

ローゼは当地で栽培された山ブドウの果汁を使用し、芳味が入り、ブドウとマタタビの味と香りとが混じり合って、白よりは多少複雑で甘い味になっています。
今後さらにマタタビの特徴を活かした飲みやすいワインづくりをめざして努力していきます」と説明。
佐藤時幹町議会議長の音頭で乾杯した後、出席者は白と新作のローゼを飲み比べ、新酒の味と香りを楽しみました。

「マタタビの香りが強いローゼの方が飲みやすい感じがする。色も上品でおしゃれ」「今年の白は甘みがあって美味しい」など大好評の発表会でした。

本当の意味の始まり

「山水荘」完成祝賀会



社会福祉法人あに福祉会が今年四月に水無地内に開設した特別養護老人ホーム「山水荘」の竣工祝賀会が十月七日、ふるさと文化センターで行われました。山水荘は特別養護老人ホームにシヨートステイ、デイサービス、在宅介護支援センターなどの機能を併せ持つ福祉施設として建設され、四月一日から入所を開始しました。

外構工事も八月上旬に完成し、十月一日からは町の委託を受け職員九名を増員して、デイサービス、介護支援センター事業も始まりました。

宮原理事長が「この施設は利用者の方々の生きがいの源泉になっております。

施設の完成は終わりではなく、本当の意味での始まりです。」とあいさつ。

ふるさと文化センターでは関係者約百三十人が出席して待望の特養施設の完成を喜び合いました。

礼を申し上げます。

ご寄付を戴いた方に、記念のテレホンカードを送りました事を申し添え、報告いたします。

平成六年十月

福祉保健課内法人設立事務局
社会福祉法人阿仁ふくし会事務局

社会福祉法人阿仁ふくし会

設立寄付報告

社会福祉法人阿仁ふくし会設立につきましては、平成五年二月以来町民の皆様はじめ、町内企業・団体、東京圏あに会、秋田市阿仁会のご援助ご協力を戴き、平成五年五月法人設立をいたしました。

寄付総額は、一、九六二万七千円となり、「阿仁ふくし会」の基金に一、六〇〇万円を繰り入れ、残り三六二万七千円は「山水荘」の備品等開設準備費用に充てました。

社会福祉法人「阿仁ふくし会」 寄付状況

平成6年10月

	町 個	内 人	町 企	東 業	京 団	阿 仁 会	秋 田 市	市 会	合 計
	千 円	件	千 円	件	千 円	件	千 円	件	千 円
10	154				4				158
20	18				1				19
30	13				1				14
40	13								13
47		1							1
50	3				2				5
100	2				5				7
150	2								2
200	1				1				2
300	4	1			1				6
500	1						1		2
730			1						1
1,000	3		3		2				8
1,500			1						1
2,000	1								1
計	215	件	7	件	17	件	1	件	240
金 額	10,360	千円	5,577	千円	3,190	千円	500	千円	19,627

二十一世紀に開かれた 魅力ある老人クラブづくり

東京オリンピックが開催された昭和三十九年に、阿仁町老人クラブ連合会が創立されました。

現在は九単位クラブ六百人の会員がおります。

十月十四日、ふるさと文化センターで会員ら約三百人が出席して、創立三十周年の記念大会が行われました。

大会では伊東敏雄会長が「私たちは健康、友愛、奉仕の三大運動を軸に、地域の特色を活かした伝承、文化、生産、趣味、仲間づくりなどの活動を通じて、生

きがいと健康づくりに取り組んできました。

これからは多様なニーズに対応した二十一世紀に開かれた魅力ある老人クラブづくりに努力したい」とあいさつ。

続いて、長年に亘りクラブの育成に尽力した会員三十人が表彰されました。

このあと、秋田県老人クラブ連合会事務局長齋藤秀樹氏の「老人クラブの二十一世紀プラン」と題した講演があり、午後からは演芸発表などで創立三十周年の節目を祝い合いました。



拍手かっさいを浴びたもろび会の
阿仁相撲甚句（演芸発表で）

スポーツいっぱい ルポ

心障者レクリエーション



早く早く、かざはり苑生も参加してのボール送りリレー

いきいき運動会(老人ホーム)



おばあちゃん入ったよ。(園児と一緒に玉入れ競争)



慎重に。(水入れ競争で)



なかなか食べられません (パン食い競争で)



化粧は、どう？ (あめ探し競争)



大五郎ちょっと疲れたから休もうか、チャーン。(仮装行列で)

多彩な スポーツメニュー

スポーツの秋にふさわしく、十月にはさまざまなスポーツイベントが行われました。

十月二日から二十三日にかけて、教育委員会主催のスポーツフェスティバルが開催され、盛りだくさんのスポーツメニューにたくさんの参加者が「スポーツの秋」を楽しみました。

十月四日には養護老人ホームで第十七回「いきいき運動会」がホーム前の庭で行われました。

開会に先立って前日に亡くなった県内最長寿者の畠山熊之助さんのご冥福を祈り、黙とうを捧げました。

この後高援助役が「健康が一番の幸せです。毎日笑って生活ができるよう、畠山さんの百六歳に挑戦するような運動会にしてください」とあいさつ。

運動会では、阿仁合保育所の園児たちと、玉入れ競争をして交流したり、パン食い競争、殿様ジャンケン

リレーなどに大張り切り。最後の種目の仮装行列では村山総理、日本人初の宇宙飛行士向井千秋さん、子連れ狼などの趣向を凝らした出し物ばかりで会場を大いに沸かせ、盛んな拍手を浴びていました。

また、十月五日には、身障スポーツレクリエーション大会が町民体育館で行われました。

遊競技を中心に参加者は大いに心と体をリフレッシュした一日となりました。

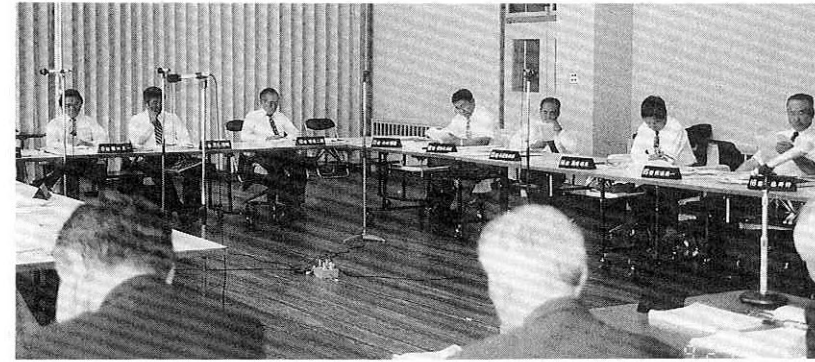
十月十日には河川公園で阿仁町のこども会が一堂に集まり、「こども会スポーツ交流のつどい」が行われました。

町内の子供会とその保護者約二百五十人が地区別に五チームに別れ、水くみ競争、風船割りリレーなどのレクリエーション競技に汗を流しました。

マラソン大会では児童たちの力走に保護者が盛んに声援を送っていました。

スポーツ・レクリエーションを通じて交流の輪を広め、親睦を深め合い、心地の良い汗を流して楽しいひとときを過ごしました。

平成6年9月 定例会



議案補正予算に対する

問答（ピックアップ）

議案

問 十月一日からのデイサービス事業と社会福祉協議会でおこなっている事業は同じ事業か。

答 デイサービス事業は在宅での虚弱老人や寝たきり、痴呆性老人、身体障害者を対象とするものであり、ヘルパーさんは入浴サービスで町単独事業である。

問 利用者は六百元〇千円となっているが食事代が入っているか。

答 六百元には食事三百円入浴代二百円、オヤツ百円で送迎もいたします。

問 十月一日から利用者が希望すれば、毎日でも利用できるか。

答 利用料は山水荘でいただく、一日十五人までで一人週二回位で申込みは役場か社会福祉協議会で。

問 デイサービスのスタッフと利用時間は。

答 看護婦二人、指導員二人、寮母二人、寮父一人、調理一人、運転手一人です。利用時間は午前九時三十分から午後三時まで。

問 老人入院時の食事代は一日六百元であるが町でこれに対し補助を考えられないか。

答 法では八百円であるが平成八年九月三十日までは六百元であり、十月一日からは八百円になる。

議会の

うけつけ

▽ 6月20日～23日

6月定例議会

6月29日（水）

平成6年度四町観光

ライン総会

・ 7月7日（木）

北秋田郡町村議会議員

研修会

・ 7月10日（日）

グリアス田代落成式

・ 7月11日（月）

第2回臨時議会

・ 7月12日～21日

北欧の翼 福祉研修

・ 7月23日（土）

営林署分会定期大会

・ 7月26日（火）

北秋田郡町村議員野球

大会

・ 7月28日（木）

県内水面試験池竣工式

・ 7月29日（金）

議会運営委員会

・ 8月1日（月）

阿仁町温泉井掘削開坑

式・安全祈願祭

・ 8月8日（月） 大阿仁

あにまち 議会

▲ 題字は阿仁合保育所、ひまわり組、よしだあやこさんです。

補正予算

問 給料計算の電算処理が一百五十九万七千円の増額補正されているが、経費が軽減なるか。

答 給料計算だけでなく統計調査もできるもので職員が余剰なるかわからないが、時間外は少なくなると思う。

問 海外研修の考えと基準は。

答 海外研修には五万円を助成している。

問 特別養護老人ホームの用地購入費の五百七十万円の用地単価は八千五百円/m²割であり外構工事は終わったと思うが当初計画にあったか、又用地は田、宅地になっ

ているが法面の地目はどうなっていたか。

答 当初計画になかった下部についてお願いしていたが、上部の樹木の整備が必要であった。将来は法面に芝を考えている。

問 戦略農家事業の二百万円は、農家台帳の整備と説明あったか、二三年前に農林指導センターでもアンケートをとっているが集約できているか、農林に対する町の一貫性がないのでないか。

答 センターのアンケートで農家台帳を整備するとは言っていない。この事業主体は農協で農家台帳を整備である。

問 農家アンケートや報告書を集約し農業振興をどのようにとらえているか資料もなく整備はできないでないか事業に

対する一貫性がないのではないか。

答 基礎資料は多くありアンケートも集約しこれからの農業振興を基本構想計画で計画されております。

問 校歌、校章をどのように委託するのか。

答 一般公募はしないで専門家に委託し教育委員会で検討したい。

問 吉田ジャンプ大会は継続できるか。

答 公認なるような大会の継続はわからないが阿仁町主催の大会を開催したい。

小学校統合校舎建設工事安全祈願祭
8月10日(水)
鷹巣阿仁広域組合臨時議会

8月11日(木)
第3回臨時議会
8月15日(月)

成人式

8月21日(日)

民生協会運動会

8月26日(金)

米代川流域シンポジウム

8月28日(日)

町民体育祭

8月29日(月)

鷹巣阿仁広域組合臨時議会

9月30日(2日)

阿仁町議会活性化対策

特別委員会研修

9月2日(金)

秋田県町村議員研修会

9月3日(土)

相撲場竣工式

9月7日(水)

秋田県少年保護育成委員会

9月13日(火)

敬老式・古希の祝い

9月14日(水)

議会運営委員会

平成五年度決算特別 委員会（ピックアップ）

問 収入未済額が年々増加しているが不納者に對しどのような対策をしているか。

答 滞納している納税者との接触を密にし、納税に協力していただくことと、計画納税をすすめる観点から納税組合の加入率の向上をはかるべく努力している。公平性を維持するため、徴税の体制を強化し滞納の整理にあたりたい。

問 不納欠損額も年々増額となっており不納欠損をださないようにできないか。

答 行方不明等徴収不能となつてゐるもののうち、時効に達したもの

が主であるが、調査を厳密にし、できる限り債権の確保をはかりたい。

問 現時点では公債費に多少の余裕があるもののこれから基本計画

による事業にともなう、ここ2、3年の公債費の見通しは。

答 公債費率にひびかないような起債を選択して行きたいが、大阿仁小学校は過疎債を要望しており、過疎からもれた部分は公債費率にひびくと思う。

問 自動車交付金の交付基準はどうなっているか。

答 町村道の道路延長や面積を基準となつてゐる。

問 総務課の賃金は社会保険の対象者か臨時職員は必要か。

答 臨時職員は必要がありません。週休二日制等の人員確保等を考えれば必要があります。

問 経費節減のための不用品については企業的な考えでは非常に喜ばしいことであり、職員は節減に努力するべきと思う。

答 地域住民に対してサービス低下をあたえない不用品に努力が必要と思つてゐます。

問 人件費の節減のため事務器導入があり行政改革が必要に思うが。

答 住民のサービスの低下にならないように全体的に検討して行きたい。

問 委託費がかなりの額であり職員の中でやれないか。

答 補助事業のような事業は専門に委託しており、かんたんなもの町職員でおこなつてゐる。



飛沢真一氏

自治大臣感謝状
贈呈される

市町村議員として通算三十五年以上在職し、地方自治の発展に功労があった人に感謝状が贈られたものである。

飛沢真一氏は昭和三十四年十一月一日に初当選され教育民生委員長、総務財政委員、議会運営委員長、などを歴任されました。

昭和五十八年十一月から平成三年十月まで第十代副議長に就任されました。

一般質問

9月定例会での一般質問は9月20日、泉一雄、菊地忠雄、小武海芳雄、高嶋信夫、山田博康の5議員が町政を取り巻く諸問題について質問されました。

質問と答弁を要約してお知らせします。

基本実施計画は町民の夢と希望を

住みやすい町に

問

昭和五十年より現在まで十八年間に町の人口は二千二百七十三人減となっております。これ以上若者が町外に流出が続くと、町の将来はもとより家庭や地域がやがて崩壊して行くのではないかと云った危機感が持たれておりこの基本実施計画立案中であるが町長の所信をお伺いいたします。



泉 一雄議員

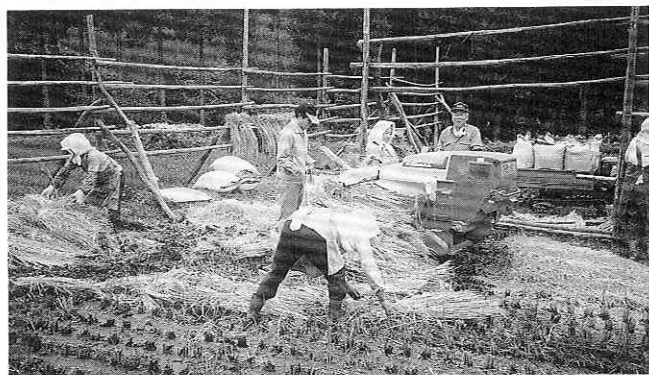
(二)この構想も二十年の幾月が経っており、社会、地域、環境等の情勢の変化により、町の活性化に

ほどとおく、この計画構想状態も形式的なものでなく安心して生活出来る町づくりの青写真であってほしいため町長の決意をお伺いしたい。

答

基本構想は町内外からの貴重なご意見ご提言が随所に生かされるように進められており、過疎計画も同時に進めております。

(二)この構想も二十年の幾月が経っており、社会、地域、環境等の情勢の変化により、町の活性化に
過疎化の要因は戦後の炭鉱、木材、製材、鉱山等が盛んな時から年々衰退され若者の職場が少なくなっており人口流出の原因と思っております。
人口増にすることはなかなか至難のわざであり、当町は自然を生かした観光を軸とした観光立町を進め流動人口をとらえな



がら活性化を進めるような計画も考えております。五十年度に策定した計画その時々、社会情勢や国の政策の転換による経済的な動向による変更して実施してきたところです。

この開発基本計画が町民に将来における大きな夢を与え阿仁町の末長く住みやすい町として存続していくための十分な計画となるように努力いたして参りたいと思います。

田畑、山林は守れるか。

安定した農林業の確立

問

町では地場産業の活性化のため、働きがいのある活気に満ちた町づくりのため十項目の施策大綱を発表されているが、どれをとっても問題と思えます。

農林業の生産基盤整備、後継者確保等が急務であります。

今、農林家では後継者(息子)が帰ってこないし私一代で終わりかもしれないと言う声が聞こえてくる。

思い切った発想の転換が必要と思うが町には具体的な方策はないものかお伺いいたします。

(二)林業の就労者の八十％は農業と兼業であります。農林業の生産基盤の整備による、労働力の省力化生産の低コストが可能であり、春は田植、秋は刈取などの作業に就労し農閑期は森林作業に就労し農業と林業の共同体による年間雇用し、若者の待遇も公務員並の水準とした第三セクターを設立できないか。

答 農業を取りまく環境は食管法の見直し、ウルグアイラウンド合意等々により我が町の農業は非常にきびしくなるものと思っております。当町で農業を営んでいくためにはいろんな組織化農業経営の企業化、法人化等の第三セクターのよくなものを作りながら担

い手育成とか機械の導入や農業の住宅問題の施策というものを当然考えていかなければならないと思っております。

町の場合もゼンマイ、フキ、山ブドウなどいろんなことを農家の皆さんが模索しながら努力されております。

基本計画の農業の部面でも皆さんのご意見をききながら安定した農業の確立のため努力をしなければならぬと考えております。

林業の高齢化と後継者不足は大変きびしい状況にございますが後継者確保のため国も県も町も手を携えながら、後継者の確保のためにいろんな施策を精じておる現状でございます。

農家でも林家でも零細な規模であり、農林家としての経済の確立を目指していかなければならないと考えておる所でございます。

町内の商店はどうなる

商店主の行動を期待している。

問 人口減により、客数の減少と、パイパス

の開通により、町内の購買力が他町村に流出している可能性があり町民の

消費ニーズに答え、さらに町外客及び観光客の入

り込をはかるため共同店舗建設の考えはないか。

(二)企業誘致は容易でないが五、六人程度企業誘致を積極的に推進しウター

ン者や新卒者が町内企業に就職した場合に奨励金を出して若者定住をはか

るべきと思うが。

答 阿仁町の場合は地域的な関係から大型店

というようなものはなかなか大変であり、ただ共

同店舗的なものは商業者の中にも望んでおられる方が多く商店主自身の自



らの行動により町としてどういうふうに支えていくかということが課題になると思います。

経済活動が活発である町ということが活性化につながっていくことだと思います。

若者ウターンは条件を町が示していくことが必要であり開発基本計画で具体的に示めせるよう努力して参りたいと思っております。

八月臨時議会

集落環境整備事業

遊遊ガーデン造成工事請負契約締結について

問 造成工事の内容は、造成面積二haと人工河川二百五十三M、幅六Mと釣場道路、一七四M

子供達が、水遊びできる施設である。

問 トイレが一ヶ所よりないが少ないのではないか。

(二)当初計画では人工河川に内水面試験池の水が入ることになっているが、子供達が水遊びのであれば、別から導水すべきでないか。

答 (一)トイレは新山村整備事業で検討したい。

(二)内水面試験池の水が入れない。

魚ノ子沢から導水する。打当温泉との関係は

問 この施設の食堂は打当温泉と競合するが養殖魚イワナ、ヤマメ等の魚は阿仁町の食堂に供給したい。

答 組合をつくって運営すると思っていないか？組合員を募集してまでして運営し、最後は町が運営するのでないか。組合ができていないか？部活では町が運営主体であり、部活では組合をつくるかと言っていないが現在十二名の組合員で運営するように協議している。

基本構想策定は

十二月に協議したい

問

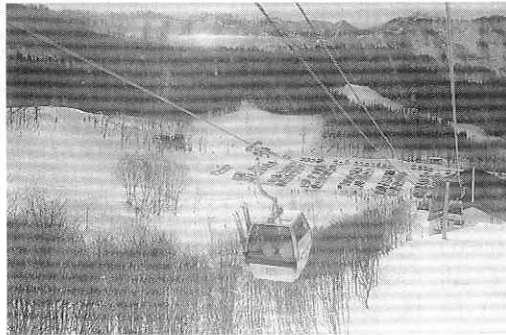
平成十四年までの十年間の阿仁町基本構想の大綱は昨年十一月に策定されたが基本実施計画はいつ頃議会に協議するか、私は十月頃と聞いた感じもあるが。

答

九月から十一月の間策定審議会の委員を委嘱、町議会、協議会、管理者会議、策定審議委員会をとおして十二月管



菊地忠雄議員



速急に取り組みたい

問

平成十二年まで人口を五千三百人に人口増のため宅地造成が必要と思うが現在は阿仁町から合川町の住宅団地に移転する人が多く阿仁町から通勤できる環境整備、高速交通道路整備が必要と思うが。

答

人口を増やすためには企業誘致あるいは若者定住のための基盤づくりがぜひ必要とされる訳であります。

そのためには住宅用地の確保は当然のことであり速急に取り組んで参りたいと考えております。

町活性化は宅地造成で

森吉山スキー場と夏場観光の推進を

収益性のある施設を

問

森吉山スキー場も七シーズンになろうとしており、このスキー場の開発整備は両町が歩調を合わせ促進すべきと思う。又整備促進は地域活性と雇用確保をもとめる

ものであり、積極的な陳情が必要と思う。夏場観光として年々増加するゴルフ人口を対象にゴルフ場整備や今話題となっている場外馬券売場等々の施設建設が必要と思うが。

答

阿仁スキー場コース造成は二月十五日の県公園保全審議会にてゴーサインがだされました。又二月十五日には三上常務に町と議会ですキー場の早期整備について陳情を申し上げております。さらに七月二十九日にはコクドオーナー堤社長にホテル建設と阿仁側スキー場の下部コースの増設をお願いいたしており、その結果社長より直接須藤支配人に指示をいただき詳細に検討され決定されております。

一日も早く増設コースが完成されるようそれぞれの機関に対して陳情をお願いしたいと思っております。

大館能代空港をインパクトに冬場はスキー、夏場は民間主導でゴルフ場やテレトラックをつくることも町にとってもは収益が見込めるといふふうに思います。

イベントの成果は

前年対比マイナス

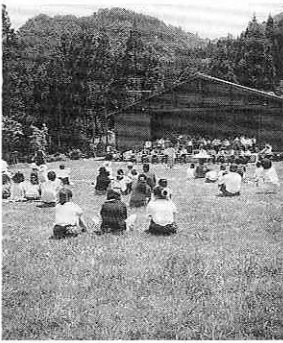
問 九月のイベント、異人館フェスティバル、駒おどり、花火大会、川下り大会等の今年度の総括をおきかせねがいたい。又各イベントの反省会が必要と思うが。

考えております。

イベントの反省については、関係者一同による総括をし総点検をして今後の一層のイベントの活性化に向かって努力していかねければと思っております。

答

阿仁町のイベントの入込客は八月三十一日まで、熊牧場、しょうぶ園、川下りゴムボート、打当温泉、マタギ資料館、ブナ岱キャンプ場等々はマイナスであり原因は猛暑のため海水浴にお客を奪われたのではないかと



地域道路整備は

県道昇格は

時間の問題

問 (一)河北線県道昇格陳情は定期的に陳情をされたい。

(二)統合大阿仁小学校の通学路は国道及び鉄道横断があり、交通安全対策指導が必要と思うが。
(三)比立内駅から幸屋線の短絡歩道整備は地域住民に便利と思うが。

答

河北線県道昇格を十月六日に県の土木部長と県知事に期成同盟会として陳情を申し上げ最後の県道昇格に対する確答をいただかなければならないという決意で陳情いたします。

通学安全については現在も常に各学校とも連携をとりながら事故防止に万全を期している所でありますのでご理解とご指導をいただければと思います。

比立内駅と幸屋農道の歩道新設は地権者の合意が必要でありこの歩道は大変利便性があるのでないかと考えられ前向きに検討させていただきたいと思っております。



広い敷地の文化センターをもっときれいに

文化センター周辺の 手入れに努力します。

問

(一)文化センターはすばらしい環境と敷地の広さ、修影等もすばらしい場所に建設されております。このセンターの外構に花壇と植樹が必要と思うが。

修影がだいなしであり、手入れが必要と思うが。

(三)北緯。40モニュメントはなにを意味しているか、説明板が必要と思うが。

答

文化センターの鉄道側の法面は平成元年度時には筆界未定であり法面は買収となっていないので町単独では勝手に手を入れられない状況にあり障害になって景観をそこねているとすればお願いをしながら美観を保つように努力いたします。その他のご指摘についても参考させていただきたいと思っております。



小武海芳雄議員

河北線でも秋田短絡道路 でも早くできる道を

河北が目処がつけば 秋田短絡ルートを

問 (一)河北線県道昇格は
まもなく三十年にな
ります。

行政報告では今年中に昇
格の見通しとあるが、私
の情報では今年はむりで
ないかと思うがその後の
状況はどうか。

(二)河北線は三十年たっ
てもごらんの通りです。
今は一年遅ければ三年か
ら十年は遅れる時代です。
私は、河北でも秋田短絡
(鳥坂)でも早く出来る
ルートを強く望みます。

答 今回の昇格は五つの
路線が昇格されるこ
とになっておりその路線
のトップに位置されてお

り大きな期待をもってお
り十月六日が最後の陳情
と思っております。

秋田短絡道路については
去年の秋田市阿仁会總會
でこの道路につきまして
は将来にぜひ実現したい
と発言されており、秋田
市と言う政治力を借りな
がら努力をいたさなけれ
ばならないと思っており
ます。



ふる里の山や川をなぜ活用できないか

河川は水質と水温に問題あり

問 (一)阿仁川の冬の活用
として冬のなにもな
いときに阿仁川に白鳥の
飛来を誘発できないか。

(二)夏の活用として
都会の親達は夏休みは田
舎で、山や川の大自然を
十二分に満喫させ、田舎
の楽しい思い出を作りな
がら都会に帰る。

当町に来ても子供達は川
にも行けない、プールに
も入れない。こんなバカ
なことがありますか。

このような有様では、子
供達や孫達は阿仁町には
来なくなります。

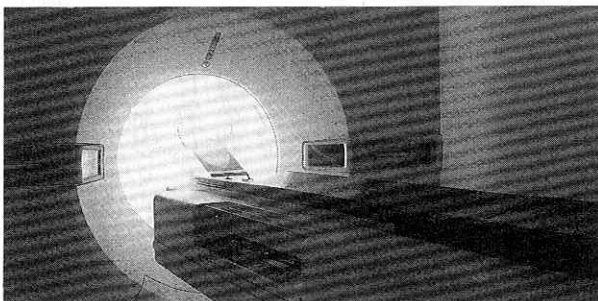
私は楽しい思い出を作り

毎年来てもらうような田
舎にすべきと思います。
その対策として数年前か
らご提案している河川プー
ルは出来ませんか。

答 現在の阿仁川の状況
を見ますと、上流の
方に民家も沢山あります
し、家庭の雑廃水が流入
することもあり水質検査
に問題があるのではない
かと思えます。又水温も
ものすごく冷たく子供達
は川で遊べるかどうかを
相当研究して事故の問題
もあり時間をお貸しいた
だきたいと思えます。

CTスキャナ について

今度町立病院が購入す
るCTスキャナは人体の
輪切像を撮影する医療器
械でX線ではほとんどわ
からない、組織や病巣の
空間的な位置や形状を正
確に知ることができる。
この医療器械の導入に
より町民の皆さんの健康
を守るものと思いますの
で早目に検診下さい。



森吉山スキー場の連結がかぎ

二つのスキー場を一つに

問

阿仁スキー場の入込客の伸びなやみはスキー場整備の遅れが最大の原因であります。

この整備促進のため開発に障害となる問題は全て町のトップ、三役が直接交渉解決に当たっていただきたいスキー場整備に両町全力を尽くして一日も早く連結することにより地域経済効果を期待できるものと思います。町長の決意をお伺いします。

答

ご指摘のとおり何とかして、この両スキー場の連結のため運動をし



なければならぬと思っております。

阿仁町にも町の愛称を

皆で知恵を出し合って

問

私は町のニックネームに前から関心を持っていました。がなかなか名案がなく、最近とくに横文字が多く高齢者は困ることばかりであるがどここの観光地に行ってもこのニックネーム入りのおみやげ品や特産品の包装紙、袋、着板、広告等を使用されており、このようなネーミングを印象つけることが大切であります。我が町も誘客の手段として又条件の一つとして是非必要と思えます。

答

いろんなユニークで魅力ある町をアピールでき、多くの方に関心を持たれることは大変大切なことでありますので皆で知恵を出しあっていい名前を考えていただきたいと思っております。

誘客をはかるまで空港の開発はまってくれない

町のPRは町民全体で

問

(一)大館能代空港の開港は平成十年です。

この事業費は約六百億で今年には二十億であり、この事業が我が町にどのような影響がでているか。又鷹巣町では議会、商工会、各種団体等が国県に陳情しており、国県では予想以上に手助けをしてくれているとのことであり我が町も何かをやらねばならないと思うが。

(二)阿仁町は大きな投資もできないが立地条件として山と川の自然を売り込むのが一番と思う。

そこで都会の人達の意識調査では、ふる里がほしい、大自然を満喫したい、がもっとも多く、阿仁町を都会に宣伝してくれる人、情報の収集と発信してくれる人が必要であると思うが。

答

沢山の人々に来ていただくことが町の活性化と経済効果を大きく期待している訳であります。

例えばお盆などは全国からお墓参りにこられるさいにその人達につながりをもって阿仁町のPRをお願いしながら誘客に努めていかなければならないと思います。

又いろんな雑誌等も利用し町の観光とか町のPRも必要であります。

特に学校への合宿は春夏秋冬のご利用につきましても今後ますます努力をしながら町をにぎやかにするようがんばって参りたいと思います。

有能でビックな職員を

新進気鋭の若い人

問

職員採用は平成三年に十二名の事務職員を採用して以来実施されておりません。この原因は議会で職員定数の削減による人件費の軽減に對することが起因すると思いますが、町民は積極的でビックな政策展開に當り、有能な、若く、ファイトの有る職員を必要としております。又職員の年齢構成上のバランスを

保つためにも毎年一人でも新卒者の採用が必要と考えますが町長の考えをお伺い致します。

答

退職者は平成十二年まで二十八名が退職年限に達するというものであり、今後いろいろ仕事を進めていく上において専門制というものが求められております。

新進気鋭の若い人を補充採用していかねければならないと思っております。体制に不備をきたさないように考えております。



高 嶋 信 夫 議 員

育林の思い出は

育樹の意義を

考えたい

問

毎年行われている植樹祭の目的は十分に理解されておりますが、せっかく植林された林地も木材の低迷により放置されておる所です。

将来の国産材時代の到来を考えると、育樹祭を行うことにより育林の喜びを、子供達と一緒にやることにより林業への関心を高める事になるものと考えます。育樹祭に對しての町長の考えをお伺い致します。

答

植樹祭は全国的な規模あるいは全県的な規模で行われてきており、今後継続する見込であり、植樹祭を取りやめにして育樹祭というように転換するというところにつきましては、今の所考えられませんが、育樹祭という意義について勉強させていただきながら、取り組みについて討議をしながら研究させていたいただきたいと考えております。

いつまでも伐採できる林道を

財政状況を考えて

問

営林局の伐採量が三割減になり、受給のバランスが崩れ、丸太が高騰傾向にあります。

木材流通センターで毎月約一千³mの丸太が高騰で取引され、林家では強い関心をもっております。近年は八月から十一月

が特に丸太が不足であり、価格が高騰する実体であります。

林家としてはいつでも丸太高騰の時期に伐採できて林道・作業道が必要であり、林家所得向上と町の経済波及効果に林業振興がはかられるものと思ひます。

そこで林道の基盤整備とこれにともなう受益者負担軽減に對し、町単助成を積極的に取り組まれることを強く要望いたします。

ます。町長の決意の程をお伺いいたします。

答

林道・作業道網の整備は、合理的林業経営及び森林の適正管理に重要な役割をもつものであり、この整備が急がれております。特にここ数年以来林業を取り巻く環境は依然としてきびしい条件下にあり、林業経営の低コスト化を図ることが課題となっております。林道作業道網整備を平成十五年まで、現在の二十五路線を三十四路線・七万二千八百mに目標をもって進めておる所でございます。要望等の内容につきましては財政状況等をにらみ合せ今後検討いたして参りたいと思っております。

河川公園は安全か

県と協議して

問 河川公園内のイベントは年々ふえているとともに通年活用されるものと思いますが、安全対策が必要と思うが。

又子供達が通常自転車遊びにより川に転落や川の増水等による対策を考えると、川側に防護柵が



必要と思うし出入口に河川での注意事項を書いた立看板も必要と思うが、町長の考えをお伺いいたします。

答 河川公園の整備は来年度で完成です。ご質問の防護柵の件ですが、洪水等の場合に水の流れに支障を与えないというのが河川の原則になっており、河川内の耕作物の設置は原則として大変難しいと思う訳であります

が、安全という面からも十分県と協議して行きたいと思えます。

なぜできない

河川プール

雑廃水の

入らない川上に

問

都会から田舎に帰省され方々で子供のいる人達が一番先に行くとするれば川と言う事ですが、それは親の思い出として、自分の子供にも自然体験として川遊びをさせるた

めと思えます。

田舎の素晴らしさを味わっていたくためにも新設を希望いたします。

又今までの一般質問をふまえ町として河川プール新設に向けた関係機関への交渉されたと思いま

すが、その経緯についてお伺いします。

答

河川公園にプールの増設については小武海議員に対する答弁の通り、水質の問題があり、造るとすれば川上を活用したいと考えております。

福祉エリアの

青写真は

構想は

もっている

問

山水荘を訪れたときに誰もが感ずる隣接地の池による事故対策が考えられる。そこでお伺いします。

(1)あの池は今でも防火用水として必要か。

(2)所有者と埋め立て等の

安全対策について話合いがおこなわれたか。

(3)もしされているならば現段階までの状況と取り組みについてお伺いしたい。

病院と山水荘周辺整備計画があったら町長の考えをお伺いします。

答

山水荘の堤の問題は古河さんの所有のものであり、最初は会社の

町の人口を町外に流出させるな

いろいろ研究したい



山田 博 議員

が出来ないため町外に移転している現実を厳しく受けとめて、その流出をとめる対策として一区画百坪〜百五十坪の宅地を最低十区画造成し、定住を促進できないか。

又分譲方法は奇抜な発想で利用者が飛びつくようなアイデアを工夫すべきと思うが。

問 平成十二年まで人口五千三百人を実現のため三つの視点で質問したい。

(1)町内に適当な宅地取得

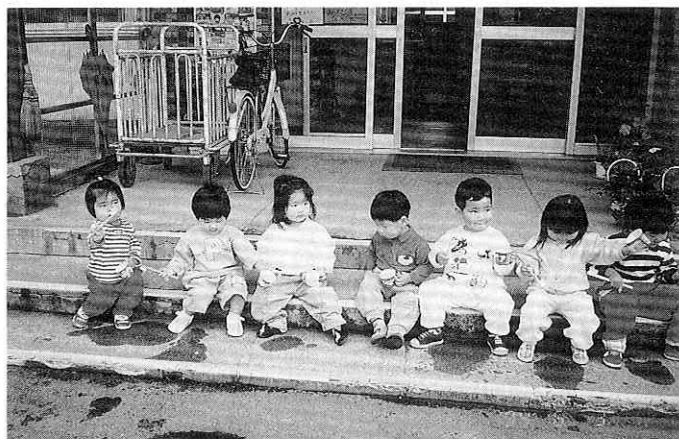
又、若者が結婚し町内

に住居を求めても適当な住宅がなく隣町に住居を移すということを耳にするのですが、この様なことのないような住宅施策を確立していただきたく強く要望いたします。

取組として平成四年度の地域小売商業活性化推進事業の報告を参考としたユニークな施策を当町で検討され若者のＵターンを促進するとともに、

脱都会という現象の中で、豊かな自然環境の中で創作活動をする人達の町内の呼び込みを目的とした宅地造成と住宅建設への大胆な発想を希望する町長の所感を教示ねがいます。

(2)国と県の施策児童手当を3歳までは第1子、第2子は月額五千元、第3子は一万円の助成金を交付している。第3子以降は



保育料の免除という優遇措置を講じているが私の提案したいことは、町単独事業として第3子の出産者を対象に小学校入学まで月額一万円の手当の助成を継続するような対応について考えられないかあわせて高校進学以上の生徒に対し町独自の育英資金制度の確立を提言し町長の所感をお聞きいたします。

(3)結婚の促進が定住人口増の大きな鍵をにぎっている事は誰もが認めるところであります。結婚問題は個人のプライバシーに係わる事であり行政が関与できる範囲というのにはおのずと限定されるが、結婚難に苦しむ町村がその打開策として、国際結婚への道を模索しており町が窓口となって関係機関との連携をとり結婚難解消に向けた取組を考えているかについて教示していただきたい。

答 人口増につながるためさまざまな振興策を展開しなければなりません。環境の整備であり、寒冷地に適した住宅建設の推進と高齢者住宅

としては除雪排雪に不便を与えない住宅建設が必要だと思います。今後の町営住宅建設として、二十八戸の新設と建て替え八戸を計画しており高齢者用の公共集合住宅二戸と、宅地供給として一区画二

百坪を十区画の宅地分譲の計画を立てておる訳であります。これでことたりるものでありませんがいろいろな手段方法を講じながらこの宅地造成を考えて参ります。

又我々も決して高齢者福祉のみに片寄ることではなく、もっとも必要な若者定住のために努力して参りたいと思っております。

結婚問題については、結婚相談員の方々にもそれぞれ真剣に取り組んでいただいておりますが実績が伴っていないと言うことで大変悩んでおりこのような方法は限界を感じ、悩んでいる状況でございます。

◎私達が積極的に国際結婚に取り組む腹がまえを決めるにはもうすこし研究して見ないと、そういう勇気が出ないような状況にあることをご理解いただきたいと思います。

この町にふさわしい一つの考え方をこれから打ち立てていかなければならないと思っております。

町営施設を三セクターに協議したい

(1)平成二年度にオーブンされた、高津森体験実習館の運営について、毎年赤字計上されており、この施設運営の民営化を考えながら結果は直営であり、集客対策として、どのような取組をしているか、PR、営業活動等々の具体的対応をおきかせねがいたい。

(2)打当地区の町有施設の有効活動についてであります。打当温泉を核とした熊牧場、マタギ資料館、それに工事中の遊遊ガーデン等を全て町直営でやっている様では運営そのものがマンネリ化す

ること、財政面の硬直化の要因になります。それを回避する決断が必要だと思います。

町施設を経営のノウハウを収得した人にその運営を責せ点の経営から面の経営へと経営戦略を変更した第三セクターを設立し経営を一任する好機ではないか、町長の所信をお聞かせいただきたい。

答 町の施設そのものが大変な経営状況であり、とくに体験実習館におきまして利用率というものが低く検討課題としていただきたいと思います。

打当地区の施設についてもいろんな問題等々の中で第三セクターへの取り組みというものを研究していただいております。実践の段階に入ったと受け止めており、さらに細かいことについてのご協議を皆様方にお願ひ申し上げたいと思っております。

歴史文化を学ぼう

有名な人達の歌碑を

問

(1)これから町づくりは文化の香り豊であり町民が誇りとして町外に情報発信することが町づくりの課題ではないでしょうか。マタギ、熊をテーマとしたシンポジウム、サミット等を情報発信地の阿仁町で定期的に開催するため町でも積極的な対応が必要と考えますが町長の考え方は。

(2)菅江真澄は四回に渡り阿仁町を訪れており、阿仁鉱山の様子や村の生活の様子を詳しく記録しております。この真澄を通じて若い世代が誇りを持つ大きなきっかけと思うのです。

真澄の町における足跡を中学生徒にもわかっていただき、ふる里の文化と歴史にふれさせながら

郷土愛をそだてられないものか。又河川公園内に菅江真澄の紀行文を綴った石碑を建立してはいかがか伺いたします。

答

マタギと言えば阿仁と言うようになっており、古くからの狩猟文化を今に伝えるマタギの里であり、マタギ文化シンポジウム・サミット等継続的に実施し、できれば町としても支援していかねばと考えております。

河川公園には阿仁町を素材にして作った歌碑を集約的に設置することによる活用効果が考えられると思っています。

菅江真澄ロードの標柱を大切に保存し真澄の阿仁町に残した数々の足跡を後世に伝えるために努力しなければならぬと思っています。

議会を茶の間で

議会で討議されて

問

(1)町民は私達議員の活動について強い関心をもっており、町民の要望に答えるためにも議員の活動を多くの町民に知っていただくために議会の様子をビデオで収録し希望者に貸し出すため議場のビデオ収録への取り組みについて当局の考え方をおきかせ願いたい。

(2)中学生を対象とした模擬議会では郷土に対する関心を深めるため、議会の役割を勉強する良い機会になると思います。

町長も中学生から町づくりについて新鮮な感覚でご意見を聞くことも住民と議会の緊密化のため模擬議会の開催について検討すべきと考えますが、町長の所感をお聞かせ願いたい。

答 議会のビデオ収録は議会の問題であり、

議会で十分に討議をしていただながら町でやる分につきましては町として役割を果たさせていただくのが筋道だと思います。模擬議会については、学習指導要領等の関係と週休五日制の関係でかなりむずかしいと思います。が検討してみたいと思います。

タタミがほしい

学校から何も

問

(1)中学校の柔道設備の充実についてであります。他町村では立派な柔道場を完備しているが、当町の場合は道場はなく、体育の授業で選択であり、男子はほとんど、女子においても半分近い生徒が柔道をやっている。柔道をやるには五

十畳の広さが必要だが、その畳も年十枚の割でそろえられ現在まだ三十枚しかなく残り二十枚は古い畳を使用しているが、正課の授業に必要な備品である二十枚の畳を二年がかりで揃えるのでなく至急完備するべきと思うが当局の所感をお聞かせいただきたい。

(2)昨シーズンこの雪の多い時でも充分に活用で終わった様子だが利用状況についてどの様に分析しておられるか。

利用者によれば一部急傾斜の斜面があり、その部分を整備が必要とのことであるが。

又設計の段階で現地を調査すると思うが、どんな手順で工事がなされたか。

このスキー場は国道から見えるスキー場であり設計段階で芝生、植栽、土石流対策はなかったのかお伺いいたします。



教育民生常任委員会

答 大変言いにくい訳ですけれど畳の件についてはクラブでやってることは私も承知しております。中学校からは何もきておらず、来年度は補充してあげなければと思っております。

阿仁スキー場についてご批判もありますが、今年は現状のままでこの冬を今一度観察してから十分に対策を講じていきたいと考えております。

審議されたみなさんからの 請願（陳情）です。

請 願 （ 陳 情 ） 名 称	請 願 者	結 果
被爆者援護法制定、核兵器廃絶を求める意見書提出についての陳情	秋田県原爆被害者団体協議会 会長 中谷敏太郎	主旨採択
国保に傷病手当で出産手当の実施を求める陳情	秋田県商工団体連合会・婦人部協議会 代表者 小玉智子	不 採 択
日本農業再建および食糧制度改革に関する要請	秋田県農業協同組合中央会 会長 佐藤秀一 阿仁町農業協同組合 代表理事組合長 松橋宏司	採 択
戦後補償問題について意見書の提出を求める請願	全国抑留補償協議会阿仁町支部 支部長 高橋 正	採 択
阿仁営林署の存続を求める陳情	阿仁町商工会 会長 魚住 金治	採 択
阿仁町に地域経済振興を図るために「テレトラック」の誘致についての陳情	阿仁町商工会 会長 魚住 金治	採 択

9 月定例会では こんなことが決まりました。

歳入総額 41億9千2百6拾3万8千円 歳出総額 41億1千2百8拾7万5千円 差引 7千6百7拾6万3千円 の決算でありました。	案 件	歳入総額 4億1千1百6拾5万2千円 歳出総額 4億 6百4拾7万8千円 差引 5百1拾7万4千円 の決算でありました。
歳入総額 2千1百2拾8万8千円 歳出総額 2千6拾4万7千円 差引 6拾4万4千円 の決算でありました。	平成5年度阿仁町一般会計歳入歳出決算	歳入総額 2千8百4拾8万6千円 歳出総額 2千5百8拾2万1千円 差引 2百6拾6万5千円 の決算でありました。
歳入総額 1億3百1拾8万9千円 歳出総額 9千9百5拾4万1千円 差引 3百6拾4万8千円 の決算でありました。	平成5年度国民健康保険事業勘定歳入歳出決算	歳入総額 5億4千6百6拾3万5千円 歳出総額 5億3千1百4万7千円 差引 1千5百5拾8万8千円 の決算でした。
歳入総額 6億2千6百4拾3万9千円 歳出総額 6億3千9拾2万2千円 △ 4百4拾6万3千円 の赤字でありました。	平成5年度阿仁合財産区歳入歳出決算	平成6年10月1日から、通所事業利用者は600円、訪問事業利用者は1000円になります。
	平成5年度大阿仁財産区歳入歳出決算	
	平成5年度簡易水道事業歳入歳出決算	
	平成5年度老人保健医療事業歳入歳出決算	
	平成5年度阿仁町病院事業歳入歳出決算	
出産育児一時金を2拾4万円を3拾万円に引き上げられた。	阿仁町老人デイサービス事業利用料徴収条例制定	
老人入院食事療養費一日600円を徴収するため外	阿仁町国民健康保険条例の一部を改正する条例	
ふるさと市町村圏基金の設置をし3億3千万円の基金のため阿仁町は4千4百8拾万円を2ヶ年で出資するた	阿仁町病院事業使用料及び手数料徴収条例に関する条例の一部を改正する条例	
	鷹巣阿仁広域市町村圏組合規約の一部を変更する規約	一般会計に8千5百9拾万1千円を追加し 財産管理 2,115千円 老人福祉用地購入費 国民健康保険 5,700千円 給料6,286千円 病院会計繰越 6,000千円 ジャンプ台道路外 6,776千円
水道工事による6,593千円増額である。	阿仁町一般会計補正予算(補正第3号)	
CTスキャナ購入 36,050千円 CT室及びエレベーター 46,950千円	簡易水道事業補正予算(第1号)	
	阿仁町病院事業会計補正予算	
	公立合川高等学校組合議員の選挙について	高嶋信夫氏を選任されました。
	総務財政常任委員会の副委員長に	湊 勇次郎氏を選任されました。

研修報告

月居博明

去る八月三十日から九月二日までの四日間、阿仁町議会活性化特別委員による、福島県猪苗代町外三県三町村を農林業と観光を主体に視察研修しましたので報告します。

福島県猪苗代町での研修内容は、県内水面試験場と町有観光施設整備についてでありました。

県内水面試験場に隣接して、町が設置した「緑の村」があり、この施設内には釣り堀・養魚観賞池・溪流釣り場・管理センター・テニスコート・淡水魚館・レストハウス等を配置し、町営スキー場も近くにあって、これ等施設を(財)猪苗代町振興公社が受託し管理運営を行っております。

当公社は、昭和五十八



年に町から二千万円の出資を受け設立し、公社職員は正職員三十九人。臨時四人で運営し、給料等も町職員と同等待遇でした。夏場の経営は、プラス、マイナス、ゼロでしたが、冬期のスキー場駐車場とリフトの収入が三億円程あり、町との委託契約の変更や町への寄付行為により剰余金処理をしています。一方、公社が管理運営する各施設への入込客は一、二三千人で、



内、スキー場入込みは年間八十万人と、公社の平成五年度総売上額は、四億六千六百万円と福島県内で公社が黒字経営となっているのは、当公社だけであると自負するほどでした。

次に、山形県川西町の日本一のダリヤ園は、昭和三十五年に、ダリヤ園造成促進協議会を中心に整備し、現在は、ダリヤ園四〇アール・苗畑六十アールの一ヘクタールの面積で、六五〇種一万八



千株となっており、園内には、管理棟・屋外ステージ・売店等があり、この管理運営は観光協会が職員十人で運営しています。又、数年後には、ダリヤ園を、ふるさと創生で掘削した温泉の隣接地に移転し、更に大きく整備したいとの事でした。

尚、日本一の経緯は、本来はダリヤであるが、村が昭和三十五年から「ダリヤ園」として開園していることから「日本

一」となっているというものです。

次に、新潟県朝日村での研修は、若者定住対策。農林業に対する助成・基盤整備と観光開発の関わりについて研修しました。

最初に、若者定住対策について、昭和六十年から平成元年にかけて、森林構事業により、物産会館・食堂・またぎの家・日本玩具歴史館を建設、平成五年から九年度には活性化林構を導入し、体験交流センターと宿泊施設の建設計画にあり、若者定住対策の条件整備を進めております。特に宿泊施設は、豊かな自然を売り物にして、都市との交流と地域間交流を促進するため、家族単位で長期滞在型休養施設として整備し、貸別荘宿泊施設を十七セット(十七世帯分)を年次計画により建設する予定でした。

又、地元木材の有効活用促進と雇用確保のた

め、近隣五ヶ町村の広域事業により、プレカット工場を建設。これにより八人の雇用が図られており、年間二四〇棟分のプレカット加工を目標にするとともに、定住対策の一環として、三十六区画造成の住宅団地整備を実施するため、臨時議会の同意を得たところでした。

農林業に対する村の助成は、土地基盤整備事業に対し、五%から十五%の助成を、近代化施設整備事業には十%から二十%を嵩上げ助成しておりました。

総合的に、国・県の補助事業を最大限活用し、村単独事業の導入や嵩上げ等により、農林業の活性化を促進しており、非常に参考になりました。

次に、山形県温海町での研修は、農林業の振興対策・若者定住対策及び後継者対策・観光開発の考え方等について研修しました。

温海町は、農林漁業を基盤としながらも、温海温泉を中心とする観光を基幹産業とし発展してきた町でした。

農業は、耕地条件に恵まれず、経営は小規模で、基幹作物である米と畜産・キノコ類・山菜・野菜等との複合的な経営を指向しておりますが、平成元年には、平成十三年を目標年次とする「あつみあたか」ブランドをスタートさせ、ブランド商品研究所や、農協加工実習室を建設。そしてアテナシヨップ物産館「しやりん」を建設し、平成五年に道の駅に指定されて以来、一集落一物産運動が婦人層、老人層を中心に、加工販売の機運が高まり、現在、地域資源活用による老若男女一体の地域おこしをテーマに、加工グループの育成や農畜産物の付加価値づくりを促進しております。又、「しな織り」

「焼杉細工」をはじめとする伝統的工芸技術や「温海かぶ」の漬物加工等も特色ある地場産業として推進していました。

観光としては、温泉旅館十八件（収容人員二、五〇〇人）、保養所三施設あり、年間宿泊客数は三十万人におよび、温泉を核に、海・山・川の自然と、各種産業が結びつく観光地整備を推進し、滞在型観光客の誘致を図る等、地域産業活性化に期待をかけておりました。

林業の振興については、民有林素材生産が年平均一、〇〇〇m³で、流通は森林組合の木材共販所で行っていますが、平成四年に「あつみ製材事業協同組合」の林産物加工施設の稼働により「庄内あつみ杉」のブランド化に取り組んでいました。

若者定住対策及び後継者対策は、温海町は結婚相談員を十四人委嘱し推進していますが、何処も

同じ状況であり、この一策として、相談員を中心に、隣近所の状況把握や相談相手として「隣組学習」を年四回開催しております。また、「あつみっ子誕生祝金支給条例」を制定し、出生率を高めることを目的に、三人目の子ども誕生に対し、十万円、四人目誕生に対し三十万円、五人目誕生は五十万円の祝金を支給しており、その実績は、平成四年度は三五〇〇千円、



平成五年度は二二〇〇千円でした。

最後に、観光開発の基本的考え方として、「すべての産業を観光に結びつける」をテーマに、

- ①観光の町づくり、
- ②あつみあたかブランド施設整備

- ③誘客対策
- ④観光志向の変化に対応

- ⑤個性豊かな、質の高い観光を目指して、
- を重点に、観光客の増と地域振興に努めていきました。

今回の研修先の各町村は、阿仁町より決して条件がよいわけではありませんが、それぞれ地域性等を充分に理解し、住民総参加のもとに地域開発が展開されておりました事に感銘した一人でした。

今回の研修で学んだ事を町勢発展のため生かすべき努力することを約束し研究報告いたします。

「安子のなみだ」 最優秀賞受賞



最優秀賞を受賞した「安子のなみだ」

の特産品が、四十一業者(団体、個人)から九十二点出品されました。学識経験者、小売業者、消費者の代表ら十三人が品質、デザイン、価格、パッケージ、表示などを基準に審査されました。

加工所の奈良俊美所長は「『安子のなみだ』は、安の滝のPRを兼ねてミズの実を悲恋伝説の安子のなみだになぞらえて命名しました。

加工所がオープンしてから三年、商品の開発や販路について試行錯誤している時期に受賞できて大変嬉しいのです。

これからも、地域の素材を生かし、伝統的な味を現代風にアレンジして商品の開発に努力したい」と話していました。

十月二十五日、秋田市の県産業会館別館で、「第十四回県特産品開発コンクール大会」が開かれました。この大会は県や県産物振興協会、発明協会支部が新商品の開発を促進しながら、県産品に対する関心を高めようと、毎年開いているものです。

このコンクールに阿仁森吉森林組合特用林産物加工所が出品したミズの実のしように漬けた「安子のなみだ」が最優秀賞に輝きました。今回は一年以内に商品化された食料品や工芸品など

無料人権相談所の開設について

大館人権擁護委員協議会及び秋田地方司法局大館支局主催の無料人権相談所を左記により開催しますので、登記・親子・夫婦・扶養・借地・借家・いじめ、その他困りごとや心配ごとがありましたら、お気軽にお出でください。

また、相談内容等は、一切秘密に扱いますので、安心して御利用下さい。

日時

平成六年十一月二十八日(月)十時から十五時まで

場所

ふるさと文化センター

担当者

阿仁町人権擁護委員
法務局職員

11月～12月 滞納整理月間

納税に協力をお願いします

納税は納期に



おでんに、かん酒の季節になりました。屋台や縄のれんのおでん屋という、ちよつと若向きでないイメージがあります。でも、おでんは最近の若者にも人気があります。

コンビニエンス・ストアなどで、おらずに買っていく姿を見かけます。

おでんというのは、煮こみ田楽の愛称のことです。田楽の語源は、田植えのとき豊作を祈って踊った田楽舞いに関係があるといわれています。その田楽は、豆腐を焼いてみそをつけたものが起こりだったようです。

その後、こんにゃくや大根、里芋などの野菜類、アユやウグイ、ヤマメなどの魚類にも田楽の手法を使いました。魚類の場合を魚田(魚の田楽)、野菜類の場合をおでんと呼ぶようになりました。やがて煮こみにしたものを、便宜上おでんと名づけたのです。

おでん

煮こみおでんは、江戸末期ごろから盛んになりました。『おでんとかん酒』が庶民に広がり、屋台などで売られるようになったのです。

関西でも煮こみおでんが売られるようになりましたが、焼き田楽と区別して「関東煮」と呼び、いまもこの名が残っています。その後、おでんは関西のほうが盛んになり、関東は、関東大震災以後、再び復活してきたといわれています。

最近、週休二日制の普及や労働時間の短縮で、家族そろって鍋物を囲む家庭が増えてきました。十一月は「ゆとり創造月間」です。しっかり働き、ゆとり休み機会をもちたいものです。



場



東北・北海道の緑化推進団体などから約百八十名が参加して、第四十二回東北・北海道地区緑化推進大会が十月六日、秋田市の平安閣で開催されました。

この大会で秋田県代表として参加した庄司金一さん(六十歳)が第三十三回東北・北海道地区民有林造林コンクール入賞者として表彰されました。

庄司金一さん 東北・北海道地区民有林造林コンクール入賞

・あかまつの部で三位に入賞しました。

このコンクールは林齢九年生に限り、三十メートル以上の杉木樹高を重視した林分の三カ所を審査対象としたものです。

庄司さんは造林を通じて林業経営面での意欲的な取り組みの実績が広く認められ、今回の受賞となりました。



伊東敏雄さんに秋田県知事表彰

十月十二日、秋田市の文化会館で開催された第三十二回秋田県老人クラブ大会において、阿仁町老人クラブ連合会長の伊東敏雄さん(七十八歳)が老人福祉功績者として秋田県知事表彰を受けられました。

伊東さんは昭和五十八年に会長に就任以来、健康、奉仕、友愛の三大運動を軸に、地域の特色を活かした伝承、文化、生産、趣味、仲間づくりなどの活動を通じて、生きがいと健康づくりに取り組んできました。

旬の顔

大木一二三さん (20歳・畑町東裏)

丸伊商店阿仁合店勤務

平成2年から丸伊商店阿仁合店に勤務するかたわら、現在銀山綱引きチーム「勇士会」のマネージャーとして頑張っている大木一二三さんにお話を伺いました。

—この職場を選んだ理由は…
うちのおばさんに紹介されて。
—職場の紹介をお願いします…
店長をはじめ、みんないい人で楽しい職場です。(只今社員、パート募集中です。ヨロシクノ)
—仕事での目標は…
お客さんに好かれる、店の看板娘になりたいナ。
—銀山の綱引きチーム勇士会のマネージャーをやっていると聞きましたが、勇士会の紹介をお願いします…
勇士会綱引きチームは今年の11月で3年目になります。マネージャー、監督を合わせて若者12人のチームで、チームワークのいいパワーのあるチームです。今は、11月の県北、青森、町民大会に向け



て週3回の練習をしています。まだ練習不足ですが、みんなでガンバります。みなさん勇士会をヨロシクノ

—趣味は…
カラオケ、ボーリングなど、とにかくみんなで騒いで遊ぶのが好き。
—自分を一言でいうと…
明るくて、誰とでもすぐ仲良くできて、みんなを楽しくさせれる性格だと思う。ただ、おちつきがなく、うるさいだけかなッ。
—今一番やりたいこと…
1週間ぐらい休みを取って、いろんなところへ行っ、いろんな人と知り合って遊びまわりたい。(とにかく若いうちは遊びたい)
—理想の男性は…
年上で、買い物に行くにも、遊びに行くにも、いつも一緒にいてくれる人。やさしい人よりもきつい人。
—町に望むことは…
若い人との交流会みたいなものをたくさん作ってほしい。

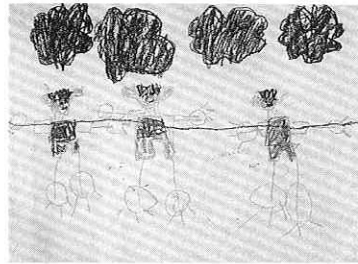
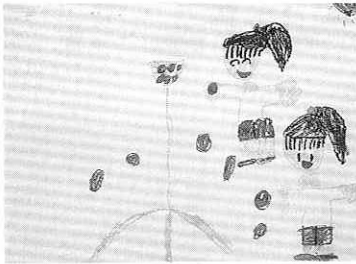


広

チビッコギャラリー

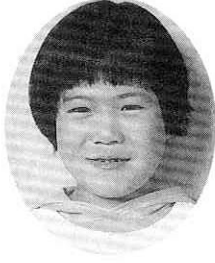
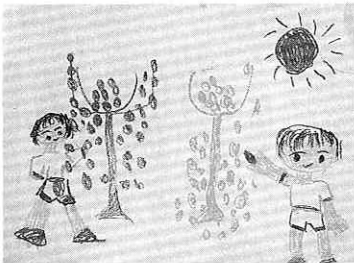


運動会



阿仁合保育所
伊藤明日香 ちゃん(6歳)
(和久さん二女)

阿仁合保育所
吉田 樹くん(5歳)
(純さん長男)



阿仁合保育所
伊藤さおり ちゃん(6歳)
(日登美さん二女)

阿仁合保育所
高堰 未佳 ちゃん(5歳)
(直信さん長女)

中村小学校

たのしかったいねかりきょうしつ

一ねん しばたとしや

五じかんめにみんなでたんぽにきました。ながつをはいて、ぐんてをはいて、くびに手ぬぐいをして、おじいちゃんがおしごとにくみしたいだなどおもいました。

きょうとうせんせいがいねのかりかたをおしえてくれました。かまがあぶないなとおもいました。かるのは、三ねんいじょうで、ぼくたち一、二ねんせいはむすぶわらをとどける人になりました。ぼくたちはあまりおしごとがなかったので、せきで、とのさまがえるをとつてあそびました。みつすぎせんせいが、「そんなにひまだったら、おちぼろえ。」と、大きなこえでさけんだので、ぼくたちはおちぼろいをしました。

つかれたけど、あせをかけたので、いっぱいがんばったとおもいました。はや

あにの

文芸

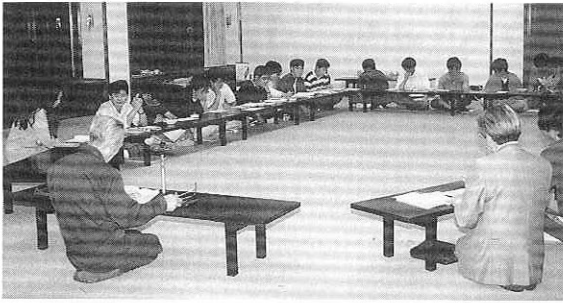
くもちつきしゅうかいがくればいいです。

いねかり教室

四年 鈴木慎一郎

九月二十四日、いねかり教室がありました。五月に植えたいねが大きく育ち、色もこがね色になり、ほがたれさがっていました。ぼくはかまでいねをかったり、かたいいねをたばねて積んでいくのをやりました。初めは楽しくやっていたけど、いくらかつてもなかなか終わらなくて、だんだんつかれてきました。一生けん命やっていたら、あせがでてきて「あつちいよ、あちいよ」といいながらやりました。

ぼくは、昔の人はこんなに大変な仕事をしていたなんて、すごいなあと思いました。今は機械で田植えをしたり、いねをかつたりできるのでもべん利になつてきました。だから昔の人達は、とても苦労して米を作っていたことがわかりました。いねかり教室はとても楽しかったです。



「中村七不思議とふるさと民話」を聴講

阿仁町教育委員会主催の「ふるさとづくり青年研修」が十月一日、二日の両日の日程で行われました。

町内の青年男女約三十人が参加し、阿仁の文化や自然にふれ合いながら交流を深めました。

この青年研修はふれあい、語り合いを通じてふるさとを再発見し、青年の手によるふるさとづくりや青年活動のあり方について模索し

「阿仁」再発見 ふるさとづくり青年研修

ようと、ふるさと推進事業の一環として初めて開催されたものです。

初日はふるさとセンターで、キリタンボづくりに挑戦したり、「中村七不思議とふるさと民話」と題した鈴木時久氏の講話で、中村地区の『まさかり石』の由来などを聞いたりしました。

また、出身小学校対抗によるクイズで、負けたチームが校歌を歌ったり、パフ

翌日には実践活動として幸兵衛滝を訪れ、ふるさとの自然を身近に感じながら散策。

大自然の中で鍋を囲みながら昼食を取り、参加者が



幸兵衛滝で

親睦と交流を深め合いながらふるさとを再発見、再認識しました。



町 の 話 題



「知らない顔がいるなあ」アクションスタッフの初顔合わせ

若者の自由な交流の場 をめざして

九月二十七日、阿仁町山村開発センターで、第一回アクションスタッフ交流のタベが開かれました。

このタベは、地域を担う若者が限られた地域や職場単位の交流から、より幅広い交流事業を自由な発想で実施してもらうと企画運営委員（アクションスタッフ）に集まっていたアイデアです。

今井町長が「若い人が定住しないと町は活性化していきません。初めての会合

ですが楽しい語らいの中から光りが見えてくれればありがたい」とあいさつ。

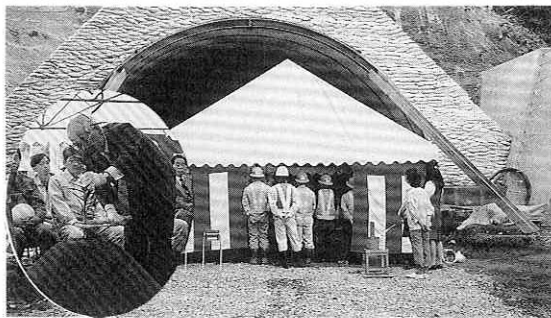
集まった二十三人のスタッフの皆さんは「阿仁にも結構顔を知らない若者がいるなあ」と感慨深げ。

懇親会では時間が立つにつれて知らない者どうしもしだいにうち解け、話も弾みました。

今後の自由な発想による交流事業が今から楽しみです。



しだいに打ち解けて話しも弾みます



県の代行工事で行われる町道吉田小様線改良工事の小様トンネル工事の安全祈願祭が九月二十七日、現地で行われました。

計画区間は、小様トンネル（四百六十三メートル）、新小様橋（四十八メートル）を含む千二百六十メートルです。

この日の安全祈願祭には、県、町、工事関係者ら約三

交通の不便さ解消

小様トンネル工事安全祈願祭

十人が出席。今井町長、池田北秋田土木事務所長らが神事に続いてクワ入れを行い、玉串を捧げて工事の安全を祈願しました。

この路線が完成すれば、狭い上に、急勾配な小様・三枚集落の特に冬期間の交通の不便さが解消される他、観光面でも大いに期待されており、早期の完成が待たれています。



バイオで培養した阿仁のマツタケ菌糸を植菌

マツタケ菌糸を植菌指導

十月十三日、近畿大学の稲葉和功助教授他二名が来町し、三枚でマツタケ保護生産組合の組合員の方々にバイオで培養した菌糸の植菌の指導を行いました。

この日植菌されたのは阿仁町で採取した菌糸を培養した固形状のものや、他の地域で採取した菌糸を培養した固形、液体のもので、それぞれ隣接した三カ所に分けて植菌をしました。

今後組合では管轄する数百カ所のマツタケ山で菌糸の植菌を行う予定です。

事務局では近い将来、五トンの収量を見込んでおり、稲葉助教授も環境整備をすれば不可能な数字ではないと話していました。

マツタケの収量が3トンあれば特産として十分にやうていけるということで、近い将来阿仁特産のマツタケが手ごろな値段で町民の食卓に上る日が近いかも。



第12回 東北地区厚生年金受給者ゲートボール大会準優勝

県営秋田スカイドームで九月十九日、秋田県厚生年金受給者ゲートボール大会が行われました。

この大会に出場した「阿仁チーム」が、川尻チームに僅差で敗れ準優勝に入賞しました。

阿仁チームは秋田県代表として川尻チームとともに九月二十九日から三十日にかけて岩手県で行われた東北地区大会に出場しました。

東北六県から十二チームの代表が参加したこの大会で、阿仁チームは並みいる強豪の中を勝ち抜き、決勝トーナメントに進出。

決勝トーナメントでは接戦をものにしたが、決勝に勝ち進みました。

決勝では青森県の「青空チーム」に敗れたものの、見事に準優勝に輝きました。

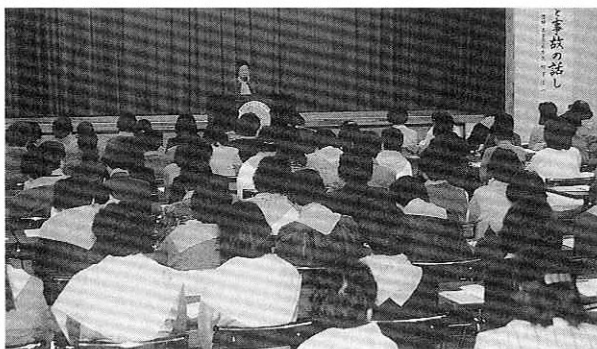
この大会では秋田県としては過去最高の成績で、阿仁町のゲートボールのレベルの高さを示してくれました。

阿仁チーム

責任者 相馬 安雄
監督 加賀谷 廣
主将 齊藤 市蔵

八田 祐治
齊藤 文雄
湊 直治
細川 光義
佐々木 信義
加藤 金蔵





50年前の思い出を語り合い、旧交を温める

五十年前の思い出を語り合う

旧制本荘中学校学徒勤労報国隊同期会

十月二十二日、旧制本荘中学校の四十一期、四十二期の三十七名の方々が、昭和十九年に学徒動員の報国隊員として勤労奉仕をした旧古河阿仁銅山の思い出の地で当時を偲ぼうと、阿仁町を訪れました。

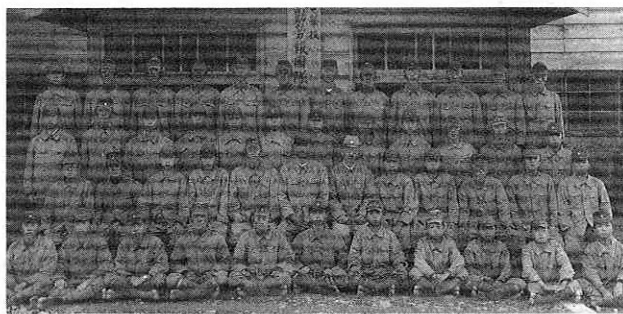
同期会一行は、バスで鉾山跡地や宿舍跡地を訪れて、当時を偲んだ他、善導寺で同期生物故者の慰霊の供養をしました。

午後六時から体験実習館で今井町長や町内在住で阿仁鉾山で働いた方を交えて「思い出を語る交流会」が開かれました。

席上、発起人の阿部力さんから阿仁町で撮影した本荘中学校の学徒勤労報国隊の写真三枚、また、伊藤一さんからは当時の古河鉾業阿仁営業所長から模範となって増産に寄与したとして表彰された表彰状が今井町

長を通じて伝承館に寄贈されました。

鉾山の仕事に従事した苦労話や上司の方がマツタケ山に連れて行ってくれたり、ご馳走になったマツタケご飯がおいしかった思い出話などに花が咲きました。阿仁町で青春の軌跡を訪ね、五十年前の思い出を語り合う一日となりました。



現阿仁中学校グラウンド内にあった報国寮で

交通安全は家庭から

北鹿地区交通安全母の会研修会

平成六年度北鹿地区交通安全母の会の研修会が、会員ら約三百人が参加して十月二十四日、ふるさと文化センターで行われました。研修会では相澤清一森吉警察署長の「車と事故の話」と題した講演を聴講したほか、森吉警察署による反射材屋内実験や反射材を利用したお年寄りの安全を守るシルバーファッションショーなどを実施して、交

通安全運動に対する認識を新たにしました。交通事故防止のため家庭で「交通安全についての話し合い」を進めます。「子供とお年寄りを交通事故から守るため、積極的に『ひと声』をかけるようにします。」「飲酒運転を徹底的に追放するために地域ぐるみ運動を推進します」の三項目を実践する交通安全宣言を行って閉会しました。

じっとしてて 祖父母交流会

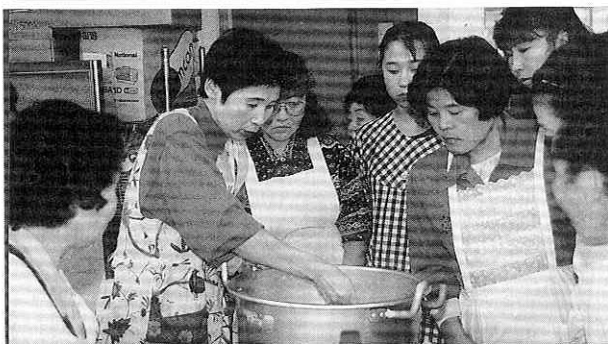


祖父母交流会が大阿仁保育所で十月二十日に行われました。園児たちは、自分のおじいちゃん、おばあちゃんを見ながら一生懸命絵を書きました。

おばあちゃんの顔にひげを書く園児がいたりして、おじいちゃん、おばあちゃんたちは大爆笑。

最後に絵をプレゼントされて大喜びでした。

家庭では見られない保育所での孫の姿に目を細めながら、楽しい交流のひとつを過ごした一日となりました。



健康づくりについてさまざまな方面から知ってもらおうと、平成六年度の第一回目の「健康づくり教室」が、十月二十一日、開発センターで行われました。

自然食品センター栄養士の小玉智子先生を講師に迎え、忙しい時でも、手軽にできるヘルシーな簡単料理を三十名の受講者が学習しました。

作られた一品料理は納豆

健康づくり教室スタート

あえ、ふのりのサラダ、かぼちゃコロッケの三品。

調理を終えた後、早速全員で試食をしました。三品とも手軽にできて、とても味がよく、しかも油を使わず、健康にも良いとあって大好評でした。

保健センターでは、来年の二月まで、四回の「健康づくり教室」を予定してみなさんの参加をお待ちしております。



マタギの味と自然を満喫 マタギの里ふるさと祭り

第十二回マタギの里ふるさと祭りが、十月十五、十六の両日にわたり開催されました。

十五日夜、ふるさと文化センターで開かれたふるさと祭りパーティーには東京圏あに会会員はじめ、秋田市、大館市、能代市など町内外から約百三十人が参加しました。

会場で、参加者は、クマ鍋などのマタギ料理や山菜

キノコ料理、牛焼き肉などに舌鼓を打ちながら、ステージで披露された根子番楽、マタギ太鼓、風張太鼓などの郷土芸能を楽しみました。

翌日十六日にはあいにくの雨にもかかわらず「安の滝探勝ツアー」に大勢の参加者が白いすだれ状の滝に映える紅葉の安の滝に足を運び、奥阿仁の大自然を満喫しました。

放送局	A B S 秋田放送
テーマ	地域づくりと青年活動
放映日	平成6年11月12日(土) 11:00~11:15
題名	ボランティアの町をめざして

11月12日

ボランティアの町をめざして 阿仁町の地域づくりと青年活動を放映



森吉山登山道を補修、清掃する会員

森吉登山道の補修、清掃 県立自然公園森吉山を美しくする会

九月五日、森吉山県立自然公園の自然環境を清潔に保持するため、清掃活動や広報活動を実践して公園の環境保全に努めることを目的に、「県立自然公園森吉山を美しくする会」が発足しました。

この会の初めての事業として十月十三日、会員の方々と約三十名が、紅葉の時期を前に、小雨の中を第一回目の登山道の補修、清掃に汗を流しました。

技能検定(国家試験)の案内

平成6年度後期技能検定を実施いたします。この検定に合格されると消費者に信頼される「技能士」(職業能力開発促進法)と称することができます。

◎ 実施職種

機械検査、鉄工、農業機械整備、婦人子供服製造、石材施工、配管、建築大工、ファインセラミックス製品製造など 44職種57作業

◎ 試験日

平成6年12月9日(金)～平成7年2月26日(日)までの間の指定された日。

◎ 実施等級

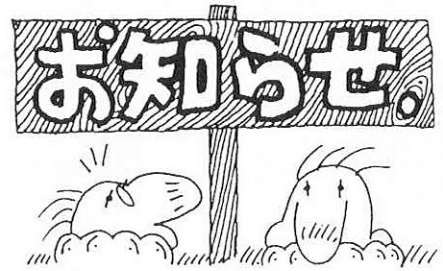
特級、1級、単一等級、2級及び3級があり、それぞれ受検資格が必要です。

◎ 受検申請書の配付、受付場所及び受付期間

1. 秋田県職業能力開発協会
(010-16 秋田市新屋字向浜1丁目2番1号)
又は、最寄りの技能センター
2. 平成6年10月3日(月)～同月14日(金)まで

◎ 問い合わせ先

秋田県 ☎0188-60-2324
又は、秋田県職業能力開発課 ☎0188-62-3510
にお問い合わせください。



観光名刺、台紙、を お分けします。

この度、町をPRしていただくために、観光名刺、安の滝、異人館、町内マップ、三種類の台紙を作成しました。

ご希望の方は、阿仁町役場(産業観光課)で台紙確認の上、ご注文下さい。

台紙は、お一人様 100枚とさせていただきます。

尚、名刺印刷代は各自負担となります。

TEL 0186-82-2111 (代表)

犬と楽しく暮らすために

第8章 誰でもできるしつけ方 Part II

- ☆ トイレのしつけは犬の様子を観察し、排泄しそうになったらトイレの場所へ連れて行き、うまくいったらほめてあげましょう。
- ☆ 飛びつき癖をなくすには、飛びつく前にしゃがんで犬を抱いてやったり、飛びついた趾に爪をたてるなど軽い苦痛を与え飛びつくことの不快感をおしえましょう。
- ☆ 「つけ」の動作は、飼い主の速度に合わせて歩かせることから始め、徐々に旋回などの高度なものに慣れさせるようにしましょう。

ワンポイント・アドバイス

- ★ しつけを始める前に飼い主が「ボス」であることを理解させることが大切です。
- ★ 「つけ」ができると、狭い道などですれ違う通行人は安心感を覚えます。

口をふさがれるのは、犬は一番嫌がる。時には嫌がることを行って、こちらの強さを示すことも必要。



募集期間

平成六年十月一日から同年十二月三十一日まで

平成六年度二等陸海空士第三次募集について

試験期日		試験		募集地域
受付時に指定する日	名称	位置	試験	
出方自田陸方 張連衛駐上衛連 所絡隊屯地衛隊秋 部秋田地秋地 大館地	三番大館市赤館町 三番三号	将軍秋田市寺内字 野野一番地	四号丁秋田市山王 四番三十三号	北秋田 市、鹿角 市、鹿角 郡、大館
				秋田県全域

「最上川舟下りと 温海温泉」忘年の旅

◎ 旅行期日 平成6年**11月26日(土)～27日(日)**

◎ 募集人員 80名様(最少催行人員40名様)

◎ 旅行代金

鷹巣	合川	米内沢	阿仁前田	阿仁合	比立内	松葉	角館
36,000円	35,900円	35,800円	35,700円	35,600円	35,500円	35,000円	34,600円

◎ 行程(全行程添乗員が同行してお世話します)〈宿泊先〉 温海グランドホテル
TEL 0235-43-2150

期日	コ	ス	食事
11/26 (土)	(秋田内陸線) 鷹巣 7:28 合川 7:45 米内沢 7:55 阿仁前田 8:12 阿仁合 8:48 比立内 8:11 松葉 8:50 (貸切バス) 10:12 角館 10:20 大曲 12:00 小曲 12:30 新庄 14:30 古口 14:30 草津温泉 17:00 温海温泉 (昼食)		昼 夕
11/27 (日)	(貸切バス) ホテル 8:30 曹王寺 9:30 「出羽ノ雪」酒造資料館 12:00 庄内観光物産館 13:00 (昼食) 13:30 土門孝記念館 14:30 本荘 大曲 角館 阿仁合 鹿角(各駅前)		朝 昼

お申し込み先
秋田内陸縦貫鉄道株
秋田県秋田市長田町山手新町119-4
TEL 018-45-1119
国内旅行業取扱主任者 白澤 桂 咲

お問い合わせは下記へ
鷹巣駅 ☎63-0643
合川駅 ☎78-3175
阿仁前田駅 ☎75-2014
阿仁合駅 ☎82-2136
角館駅 ☎54-3758

主 催
秋田内陸縦貫観光
TEL 0186-82-3666

平成7年版

県民手帳販売中

1冊・420円

秋田県統計協会では、このたび、平成7年の県民手帳の販売を開始しました。

町内においても、役場の窓口を中心に販売を行っております。県内の関係資料を充実させ、サイズも従来よりもコンパクトになり使用しやすくなっております。

部数に限りがありますので、お早めに下記取扱所でお買い求めください。

(役場窓口、大阿仁支所、
町立病院、ふるさと文化センター)

国税だより

◎ 年末調整の仕組みと手続き

年末調整は、毎月の給料やボーナスから差し引かれた所得税と、一年間の給与総額に対する年税額との差額を精算するもので、サラリーマンにとっては確定申告に代わる大切な手続きです。

① 扶養親族に異動のあった人

② 各種保険料の控除を受けようとする人

③ 配偶者特別控除を受けようとする人
などは、勤務先に忘れずに控除申告書を提出してください。



詳しくは、最寄りの税務署や税務相談室にお尋ねください。
タックスアンサーのコード番号は「(三三二)」です。

年末調整説明会の日程

今年も年末調整の時期が近づいてまいりました。大館税務署では、大館法人会と共催で源泉徴収義務者に対する年末調整説明会を左記の日程で開催いたします。本年の年末調整は、所得税の特別減税事務が実施されており、例年と多少異なっておりますので、是非、ご出席下さいますようお願いいたします。

月 日 11月14日(月)

対象地域 森吉町・阿仁町
上小阿仁村

会場 森吉町コミュニ
ティセンター

時間 13時～15時30分

秋田県最低賃金 改正のお知らせ

秋田県内で働くすべての労働者に適用される秋田県最低賃金が次のとおり改正されました。

平成6年10月19日以降は、この最低賃金より低い賃金で、労働者を使用することはできません。これに反した場合には、最低賃金法により罰せられることがあります。

件 名	最低賃金額	効力発生日
秋 田 県 最低賃金	1日 4,328円 時間給労働者 1時間 542円	平成6年 10月19日

10月から 入院時の患者負担が変わります

国保だより

- 先般の医療保険制度の改正により、平成6年10月1日から、入院中の患者さんには、「診療や投薬等の医療費に係る一部負担」と「入院中の食事に係る負担」とを、医療機関の窓口でお支払いいただくことになります。
- 「入院中の食事に係る負担」の金額は次のとおりです（なお、この負担額は高額療養費制度の対象にはなりません）

入院時の食事についての負担額（平成6年10月～平成8年9月）

1日につき600円

ただし、次の1及び2の場合には、それぞれ以下の金額に軽減されます。

1. 市町村民税非課税の世帯に属する方等で、負担額の減額認定を受けている場合……………1日 **450円**
 （過去1年間の入院日数が90日（平成6年10月1日以降のものに限る））
 を超えている場合……………1日 **300円**
2. 市町村民税非課税の世帯に属する方等で、老齢福祉年金を受給している場合……………1日 **200円**

- 上記の1及び2に該当する方は、加入している医療保険の保険者（老人保健は居住地を有する市町村）の発行する減額認定証を、被保険者証等に添えて医療機関の窓口提出することにより、減額が受けられます。
- また、メニューの多様化を図っている医療機関において、患者さんの希望により、一般的な食事メニュー以外に特別なメニューを追加した場合には、別途その費用をお支払いいただくことになります。
- 詳しくは、役場・福祉保健課までお問い合わせください。（☎82-2113）

虫 歯 の な い 子

10月13日の健康診査で虫歯のなかったお子さんをご紹介します。

三歳児（6人中）

中 村 柴田基貴くん 三 枚 加賀嵩弘くん

四歳児（12人中）

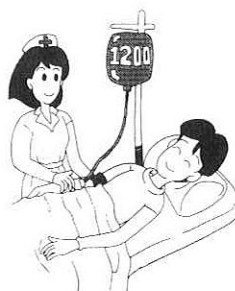
吉 田 佐藤 航くん
荒 瀬 佐々木央くん
幸屋渡 松橋春奈さん
比立内 湊 寛幸くん
上新町 高田大嗣くん



献血にご協力ありがとうございました

10月3日成分献血が開発センター前で行われ、次の方々から献血していただきました。（敬称略）

澤田忠明、森川竹広、長島昭二、魚住吉二、蒲美里子、高橋幸、佐々木敬子、魚住テツ子、庄司光子、伊島隆、木村謙一、吉田一康

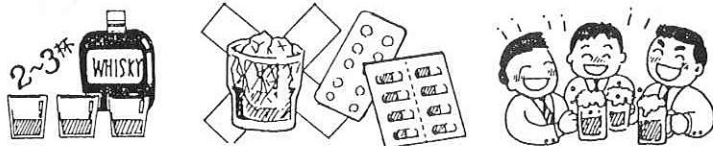


幸屋渡の上杉和子さんが30回に及ぶ献血を通じて赤十字事業の進展に多大な貢献をされた功績が認められ、銀色有功章を受賞しました。

保健婦だより

お酒とうまかつき合うための10カ条

1. 楽しく飲もう。
一人で『うっふんばらし』や『気持ちをまぎらわす酒』はと
かく量が増えて問題飲酒になりがちです。
2. 自分のペースでゆっくりと。
早く飲むと、急速にアルコール濃度が上がり酔いが早くまわ
ります。ゆっくりと飲みましょう。
3. 食べながら飲む習慣を。
空腹で大酒を飲むと胃腸を強く刺激し、アルコールの吸収が
早くなり健康を損ねることになります。
4. 自分の適量にとどめる。
適量には個人差がありますが、平均的にビールなら大びん二
本、清酒なら二合、ウイスキーならダブル二杯程度にとどめる
のがいいでしょう。
5. 週2回は肝休日。
肝臓は強い臓器ですが、毎日連続で酷使すると病気につなが
ります。肝臓を休めましょう。
6. 人に酒の無理強いをしない。
人それぞれのペースや量があります。過度なもてなしは避け
ましょう。
7. 薬と一緒に飲まない。
お酒の相互作用で効きめが強くなったりします。
危険な状態になることもあります。
8. 強いアルコールは薄めて。
これも上手なつき合い方です。
9. 遅くとも夜12時で切り上げよう。
二日酔いを防ぐためにも遅くまで飲むのはひかえましょう。
10. 肝臓などの定期検査を。
自分の健康状態を知るうえでも、おいしいお酒と長くつき合
うためにも、健康のチェックは必要です。



あすなろ会

(脳卒中後遺症者機能訓練事業)

11月11日(金) 14時～16時

阿仁町立病院

乳児相談

11月15日(火) 開発センター

対象：6年1月・6月・7月生まれ

5年12月生まれ

1歳半・2歳児健康診査

11月17日(木) 開発センター

受付：12時30分～13時

対象：5年4月～6月生まれ

4年4月～6月生まれ

健康づくり教室(2)

11月25日(金) 開発センター

14時～16時

『胃・大腸ガン検診の必要性』

講師：公立米内沢総合病院

副院長 東野 博 先生

善意

- ◎老人ホームに慰問・寄付
- 宮越俊子さんから生栗1斗5升
- オハヨー納豆さんから納豆67個
- ◎杜福協へ香典返し
- 下新町の村岡幸太郎さん(亡父・国治)から三万円
- 前山の鈴木進さん(亡父・宮五郎)から五万円

- 比立内の松橋サカエさん(亡夫・源治郎)から二万円
- 小様の小林清光さん(亡母・マサエ)から二万円
- 幸屋渡の平川幸一さん(亡父・竹雄)から三万円
- ◎広報送付の謝礼
- 次の方より広報送付の謝礼をいただきました。
- 町では郵券代として使用させていただきます。
- 東京都中野区の山内タミさんから一万円

慶弔だより

(敬称略) 9月

◎こんにちは、赤ちゃん

岡本 夏美

(清晃・長女)

幸屋渡

♡ご結婚おめでとう

福嶋 一仁(荒瀬)
永井 智子(畑町東裏)
最上 光弘(上新町)
菅原 美香(昭和町)
佐藤 一美(幸屋渡)
柿崎 智恵子(羽後町)
成田 琢也(大館市)
柴田 美奈子(戸島内)

(松橋 鉄治(比立内)
東海林 弘子(雄勝町))

☆訂正・お詫び

先月号の「ご結婚おめでとう」の欄で掲載された高木知平さんは高木和平さんの誤まりでした。訂正してお詫びします。

■おくやみ申しあげます

加藤政五郎(79)比立内
松橋源次郎(83)新中

鈴木宮五郎(89)打当

生涯学習の すゝめ

第17回 全国公民館研究集会(秋田市)

生涯学習社会に対応する 公民館のあり方を考える



応ずる公民館のあり方を考える」をテーマに、十三分科会に分かれて各地域での実践発表や当面する諸問題等について活発な研究協議が行われました。

私共の町からは、公民館運営審議委員と職員を中心に十三名、十一分科会に参加しました。

第十七回全国公民館研究集会は、十月二十日と二十一日の二日間、秋田市の九会場で開かれました。

全国大会に先だって秋田県大会が開かれ、県公民館連合会発展と活動に顕著な功績があったことが認められ、湊正俊前館長が表彰されました。永年公民館発展のため、町内はもとより全県的な立場で

のご活躍ありがとうございました。今後共ご健康で、ご指導をよろしく願います。

◆ 記念講演は、

「遊べや遊べ 学べや学べ」と題して、「広告批評」編集長・島森路子氏(横手市出身)が講演しました。

戦後の公民館は私民主義的であったが、時代と共に変化してきている。

日本人は、遊びから学び生活の中に遊び心を取り入れるべきだ。そして「遊べや遊べ、遊べや遊べ」と結びました。



ふるさと文化学園合同交流会

講師 秋田県レクリエーション協会
会長 佐藤 夙氏



員長が「新たな企画であるが各講座の交流を深めながら楽しい一時を過ごしてもらいたい」とあいさつ。

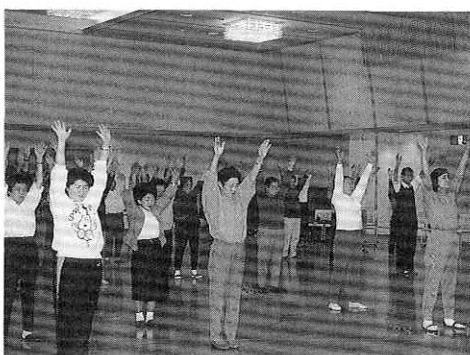
その後、秋田市の佐藤夙先生の指導によるレクリエーションに移りました。

笛の音を合図に次々にゲームが進められ、最初は緊張ぎみだった皆さんも展開するにつれ笑いがおこり、ついには高じてころげまわる人も現われるほどの熱気でした。

ふるさと文化学園では六月に開講以来、延べ一七九名の受講生の皆さんが熱心な学習活動を展開しております。

先に開かれた運営委員会において「合同レクリエーション」が企画され、十月七日文化センターを会場にして行われました。

この日は、各講座から約五〇名の受講生が参加しました。初めに佐々木孝夫運営委



文化の創造と 活力ある地域づくりを

地域の特色を生かし、心豊かな日常生活づくりと活力ある地域づくりを目指していこうと、この秋、奥阿仁、荒瀬、吉田の各分館の文化祭が行われました。

昨年は冷害の影響で中止や開催が懸念されましたが、今年は農作物の育成も順調で大盛会に実施することができました。各分館運営関係者の努力、そして、地域の皆さんの協力を得て、それぞれ特色ある文化祭が実現できました。

◀児童による扇奴(奥阿仁)



第13回奥阿仁分館生活文化祭 第12回荒瀬分館分館祭

共通の内容としては、農作物、手工芸品、各種芸術作品の展示、記念講演、バザーなどが行われました。

た。

◎第13回奥阿仁分館生活文化祭(中村小学習発表会との合同開催)

10/16

子供たちの発表を熱心に見守る父兄や祖母。阿中学生によるマタギ太鼓や児

童による扇奴、婦人学級の発表など、世代間交流が大いに進められておりました。

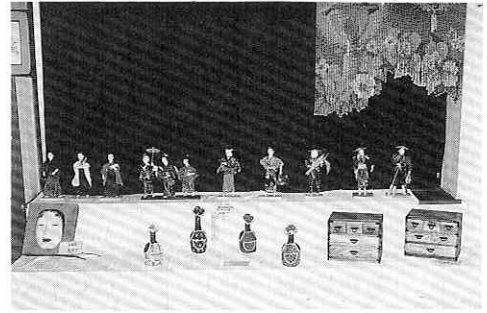
◎第12回荒瀬分館祭10/23

懐かしい荒瀬地区の想い出を福嶋吉五郎氏に「荒瀬のむかしむかし」としてご講話をいただき、昔を思い出

▼婦人学級による踊り(奥阿仁)



▼力作ぞろいの手工芸作品(荒瀬)



しておりました。



…今月の行事…



今月5日(土)～6日(日)に『第10回奥阿仁町産業文化祭』が文化センターを会場に開催されることになりました。

5日(土)は、NHK・フジテレビのニュースキャスターでおなじみのジャーナリスト「幸田シャーマン」氏の文化講演、6日(日)には芸文協文化学園受講生の皆さんによる展示、演芸発表など盛りだくさんの内容で開催されますので、町民の皆さんの多数の参観をお待ちしております。



豊富な高山植物と高層湿原に魅せられ、天上の楽園散策を味わうことの出来る乳頭山をご紹介します。乳頭山は、その姿が乳房のように見えることから、古くからこう命名されている。周辺は高山植物の豊庫で、近くには尾瀬にも匹敵

秋田の山⑧ 乳頭山(1477.5m)

するとされる高層湿原千沼ヶ原がある。山麓一帯は古くから名湯が多いたくさんの人々ににぎわっている。乳頭山へは黒湯口、孫六口、蟹場口の三つの登山口があり、ここでは、孫六口から頂上を目指す。

孫六温泉の入口があり、コースは左手の孫六尾根の登りから、うっそうと茂る樹林の中を30分ほど登ると鞍部に出る。約50分で田代岱湿原、そして30分ほど歩くと右手に黒湯からのコースと合流する。ここから15分ほどで乳頭山頂上に合流する。また山頂には周辺の山々を示した標示板があり展望の楽しみが増す。

《参考コースタイム》田沢湖線田沢湖駅(羽後交通バス50分)乳頭温泉(15分)孫六温泉(1時間30分)田代岱湿原(30分)黒湯コース合流地点(15分)乳頭山(30分)
※山と溪谷社刊「秋田の山」より

11月 生涯学習カレンダー

!! 学んで増やそう、知識と友を !!

1 火	ノーカーデー (内陸線乗車の日) 大阿仁小学校 就学時健診 根子小学校 就学時健診 高齢者バレーボール(町民体育館) 9:00~15:00 • 自主グループ 三味線(文化センター) 19:00~ • 自主グループ	15 火	ノーカーデー (内陸線乗車の日) 高齢者バレーボール(町民体育館) 9:00~15:00 • 自主グループ 三味線(文化センター) 19:00~ • 自主グループ
2 水	バドミントン(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ ワープロ(文化センター) 19:00~ • 文化学園 実用書道(文化センター) 10:00~ • 文化学園 書道(大阿仁会場) 19:00~ • 文化学園 詩吟(文化センター) 19:00~ • 自主グループ 民謡(文化センター) 19:30~ • 自主グループ	16 水	バドミントン(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ ワープロ(文化センター) 19:00~ • 文化学園 実用書道(文化センター) 10:00~ • 文化学園 書道(大阿仁会場) 19:00~ • 文化学園 民謡(文化センター) 19:30~ • 自主グループ
③ 木	文化の日 バレーボール(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ バドミントン(大阿仁小体育館) 19:00~ • 自主グループ	17 木	バレーボール(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ バドミントン(大阿仁小体育館) 19:00~ • 自主グループ
4 金	バドミントン(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ 水墨画(文化センター) 19:00~ • 文化学園 生け花(文化センター) 13:30~ • 文化学園	18 金	根子小学校 収穫感謝祭 バドミントン(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ 水墨画(文化センター) 19:00~ • 文化学園
5 土	グランドゴルフ(河川公園) 13:30~ • 自主グループ	19 土	グランドゴルフ(河川公園) 13:30~ • 自主グループ
⑥ 日	阿仁合小学校 祖父母PTA・講演会 中村小学校 もちつき大会 大阿仁小学校 親子レクリエーション	②0 日	大阿仁小学校 祖父母学級 王将会・囲碁忙中会(文化センター) 13:00~ • 自主グループ
7 月	阿仁合小学校 就学時健診 バドミントン(大阿仁小体育館) 19:00~ • 自主グループ 英会話(文化センター) 19:00~ • 文化学園 ダンスサークル(文化センター) 19:30~ • 自主グループ	21 月	バドミントン(大阿仁小体育館) 19:00~ • 自主グループ 英会話(文化センター) 19:00~ • 文化学園
8 火	高齢者バレーボール(町民体育館) 9:00~15:00 • 自主グループ パッチワーク(文化センター) 19:00~ • 文化学園 新日本舞踊(文化センター) 18:30~ • 自主グループ	22 火	第5回町民綱引大会(町民体育館) 18:45~ 高齢者バレーボール(町民体育館) 9:00~15:00 • 自主グループ 新日本舞踊(文化センター) 18:30~ • 自主グループ
9 水	バドミントン(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ 俳句(文化センター) 19:00~ • 自主グループ	②3 水	勤労感謝の日 バドミントン(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ 俳句(文化センター) 19:00~ • 自主グループ 民謡(文化センター) 19:30~ • 自主グループ
10 木	バレーボール(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ バドミントン(大阿仁小体育館) 19:00~ • 自主グループ ペン習字(文化センター) 19:00~ • 文化学園 大正琴(文化センター) 19:30~ • 自主グループ	24 木	バレーボール(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ バドミントン(大阿仁小体育館) 19:00~ • 自主グループ 大正琴(文化センター) 19:30~ • 自主グループ
11 金	バドミントン(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ 水墨画(文化センター) 19:00~ • 文化学園 太極拳(文化センター) 13:30~ • 文化学園 社交ダンス(文化センター) 19:00~ • 文化学園	25 金	バドミントン(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ
12 土	グランドゴルフ(河川公園) 13:30~ • 自主グループ 書道(文化センター) 19:30~ • 自主グループ ソーシャルダンス(文化センター) 14:00~ • 自主グループ 手芸(文化センター) 10:00~ • 自主グループ	26 土	グランドゴルフ(河川公園) 13:30~ • 自主グループ 書道(文化センター) 19:30~ • 自主グループ ソーシャルダンス(文化センター) 14:00~ • 自主グループ 手芸(文化センター) 10:00~ • 自主グループ
⑬ 日	第22回鷹巣阿仁部家庭婦人バレーボール大会(会場 阿仁町民体育館) 第12回秋田県女子駅伝大会兼秋田内陸縦貫駅伝大会 (コース 阿仁開発センター~鷹巣広域交流センター) ふるさと文化学園移動研修(横手市)	27 日	
14 月	バドミントン(大阿仁小体育館) 19:00~ • 自主グループ ダンスサークル(文化センター) 19:30~ • 自主グループ	28 月	バドミントン(大阿仁小体育館) 19:00~ • 自主グループ 英会話(文化センター) 19:00~ • 文化学園
		29 火	阿仁中学校 英語指導助手訪問(11月29日~12月2日) 高齢者バレーボール(町民体育館) 9:00~15:00 • 自主グループ
		30 水	バドミントン(町民体育館) 19:00~ • 自主グループ

全町あいさつ運動

(阿仁教育研究所)

町の小・中学校では、いま「あいさつ運動」に取り組んでおります。いつでも、どこでも、だれにでも明るいあいさつはもちろん、軽い「えしゃく」をされると気持ちが良いものです。

町づくりは「明るいあいさつから」「あいさつ運動は家庭から」を合言葉に、大人から進んで声をかけ合い全町運動として定着させましょう。

あいさつは 心通わす 虹の橋
保護者代表(根子小学校) 渡部 祥子

・印は、行事主管課及び施設・学習団体の意味です。

学習についてのご相談、お問い合わせ

生涯教育ブルーの窓口

教育委員会 82-2133 阿仁町公民館 82-2220

町民体育館 82-2126

へお気軽にご連絡下さい。(通信教育、放送利用、諸学級、趣味の教室、スポーツ、文化等)